

本日も議論いただきたい論点(案)

1. IT人材(セキュリティ、システム開発、データサイエンス)、非IT人材(経営層、ビジネスソリューションを考える層、ビジネスの現場で活躍する層)それぞれの具体的な人材育成ニーズにおいて、養成すべき具体的な能力、スキルは何か。
2. それぞれの人材育成ニーズについて、どの人材育成機関が、どのようなカリキュラムで対応することが効果的か。
 - ・その際、当該人材育成機関が現在実施しているカリキュラムや教える人材は、新たな人材育成ニーズに十分対応できるか。
 - ・新たな専門職大学が、期待される機能を発揮するためには、既存の高等教育機関と比較し、どのような点を強化すべきか。
3. 様々な人材育成機関が新たな人材育成ニーズに対応しやすくする上で、養成すべき標準的な能力・スキルの目安が示されることは有効か。(例:ITスキル標準、学ぶ内容のシラバス(授業計画)程度のもの、カリキュラムイメージなど)
4. 産業界の現場のニーズが人材育成機関のカリキュラムや教える人材の体制に適切に反映されるため、人材育成機関と産業界の間でどのような連携を図ることが効果的か。
5. 今後2～3年間で、真っ先に集中して対応する必要があるものは何か。
6. 上記に照らし、現在の関係各省庁(厚労省、文科省、経産省、総務省等)の政策的な取組は十分か。省庁横断的に横串を刺す施策パッケージはどのような姿であるべきか。